

# 無電柱化の現状と課題

---

# 無電柱化の目的

○無電柱化は、「①防災」、「②安全・快適」、「③景観」の観点から推進

道路の  
防災性能の向上



通行空間の  
安全性・快適性の確保



良好な景観形成



# 防災の観点からの無電柱化の必要性

災害	年月	名称	電柱の倒壊状況	
地震	1995年1月	阪神淡路大震災 (兵庫県南部地震)	<p>電力：<b>約4,500基</b>※1                      通信：<b>約3,600基</b>※2                      (供給支障に至ったもののみ)                      →倒壊した電柱や電線が道路の通行を阻害。                      生活物資の輸送に影響を与えたほか、緊急車両の通行にも支障。</p> <p>※1 「地震に強い電気設備のために」                      (資源エネルギー庁編)                      ※2 NTT調べ</p>	
台風	2003年9月	台風14号	<p>宮古島市全体  <b>電柱800本</b>                      →倒壊した電柱により、通行不能箇所が多数発生。</p> <p>※沖縄電力調べ</p>	 <p>出典：NPO法人電線のない街づくり支援ネットワーク</p>
津波	2011年3月	東日本大震災 (東北地方太平洋沖地震)	<p>電力：<b>約28,000基</b>※1                      通信：<b>約28,000基</b>※2                      (供給支障に至ったもののみ)                      →断線した電線が発災直後の道路の啓開作業を阻害。</p> <p>※1 経済産業省HP                      ※2 NTT調べ</p>	
竜巻	2013年9月	—	<p>埼玉県 越谷市<b>46本</b>※1                      千葉県 野田市<b>5本</b>※2</p> <p>※1 越谷市HP                      ※2 内閣府HP</p>	

# 欧米諸国の状況(ロンドン、パリ、ベルリン)

○ヨーロッパの主要都市では、無電柱化により良好な景観を創出



ロンドン



パリ



ベルリン

# 景観を台無しにする電柱と電線



【山梨県富士吉田市】  
迫力のある富士山を電柱と電線が邪魔をしている。



【静岡県富士宮市】  
迫力のある富士山を電柱と電線が邪魔をしている。



【東京都墨田区】  
蜘蛛の巣状の電線がスカイツリーの外観を損ねている。



【長野県上田市】  
風情ある伝統的建造物群にそぐわない電柱・電線。



【神奈川県足柄下郡箱根町】  
参道に張り巡らされる電線。

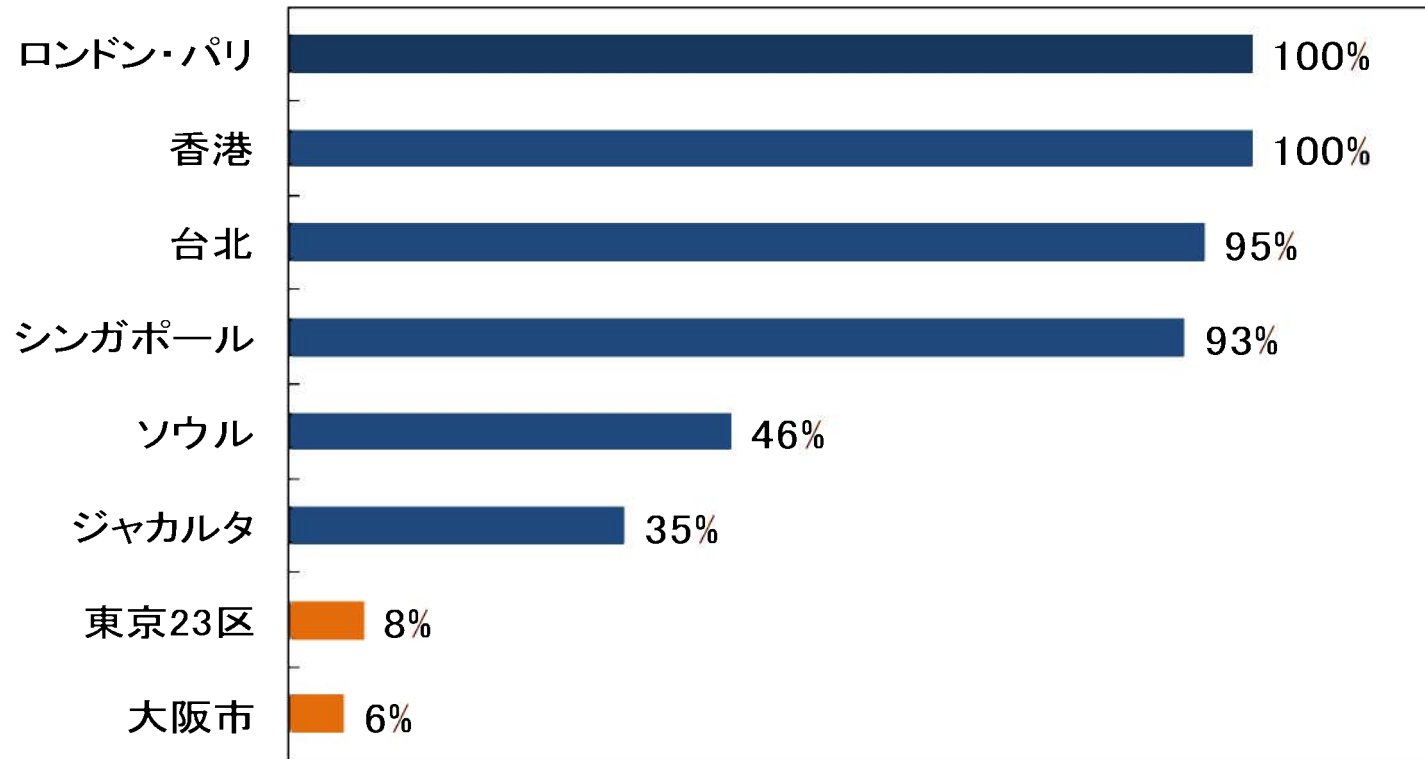


【福島県白河市】  
美しい小峰城の景観を電柱と電線が邪魔している。 4

# 無電柱化の整備状況(国内、海外)

○ロンドン・パリなどのヨーロッパの主要都市や香港・シンガポールなどのアジアの主要都市では無電柱化が概成しているのに対して、日本の無電柱化率は東京23区で8%、大阪市で6%と立ち遅れています。

【欧米やアジアの主要都市と日本の無電柱化の現状】



※1 ロンドン、パリは海外電力調査会調べによる2004年の状況(ケーブル延長ベース)

※2 香港は国際建設技術協会調べによる2004年の状況(ケーブル延長ベース)

※3 台北は国土交通省調べによる2013年の状況(道路延長ベース)

※4 シンガポールは海外電気事業統計による1998年の状況(ケーブル延長ベース)

※5 ソウルは国土交通省調べによる2011年の状況(ケーブル延長ベース)

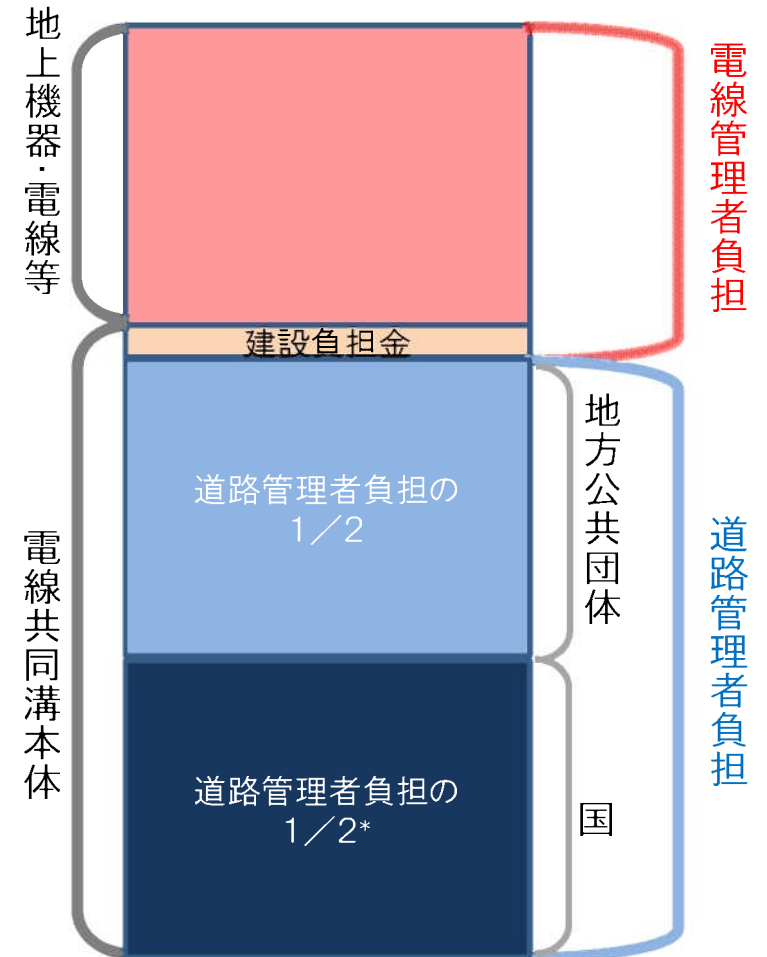
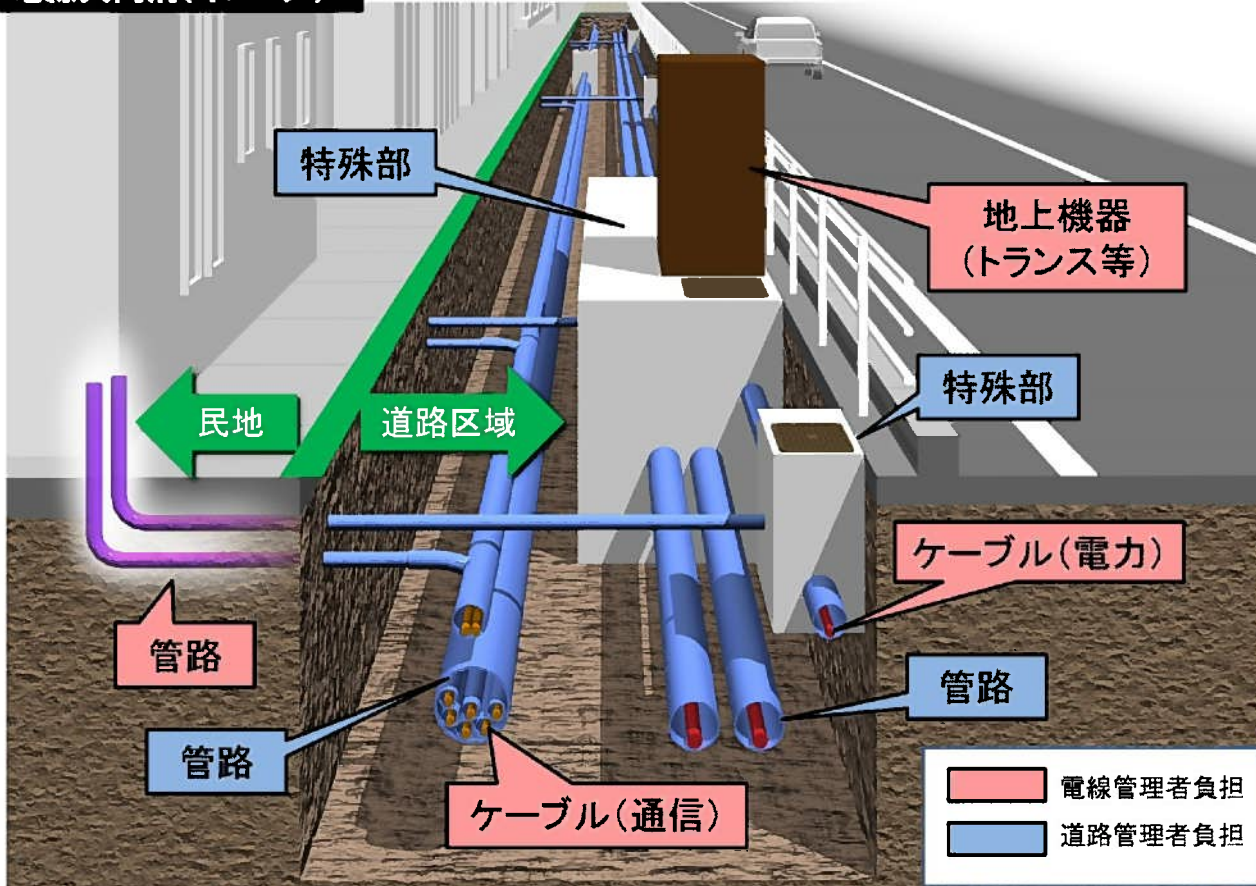
※6 ジャカルタは国土交通省調べによる2014年の状況(道路延長ベース)

※7 日本は国土交通省調べによる2016年度末の状況(道路延長ベース)

# 無電柱化(電線共同溝の整備)の費用負担

- 電線共同溝本体(管路、特殊部)の整備は、建設負担金を除き、国と地方公共団体が1/2ずつ負担 (地方公共団体が整備する場合は、国が交付金により支援)
- 地上機器(トランス等)・電線等の整備や建設負担金は、電線管理者が負担

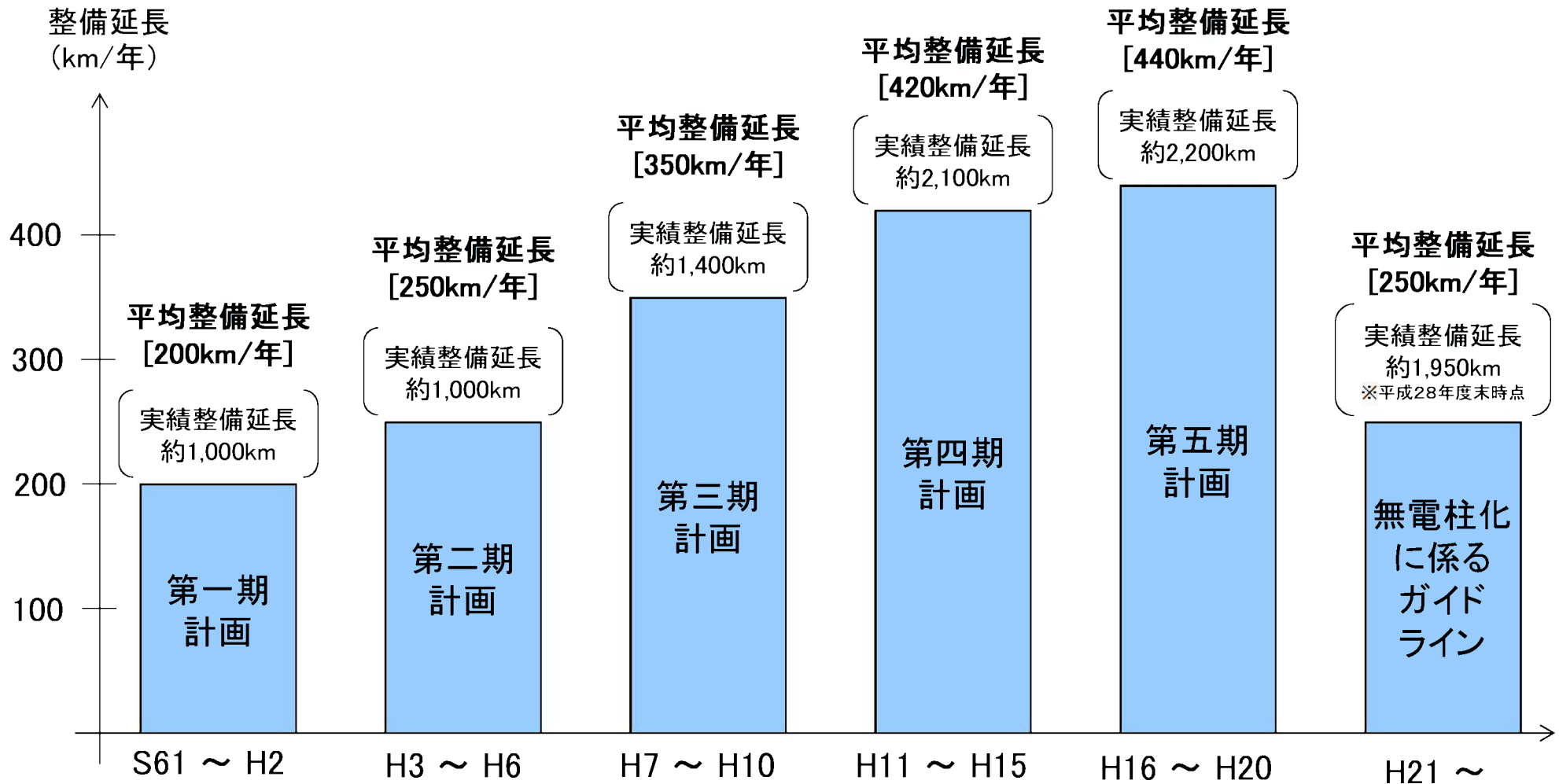
電線共同溝(イメージ)



\*現在の交付金では5.5/10等

# 無電柱化の整備延長の推移

## 【年度毎の無電柱化延長】

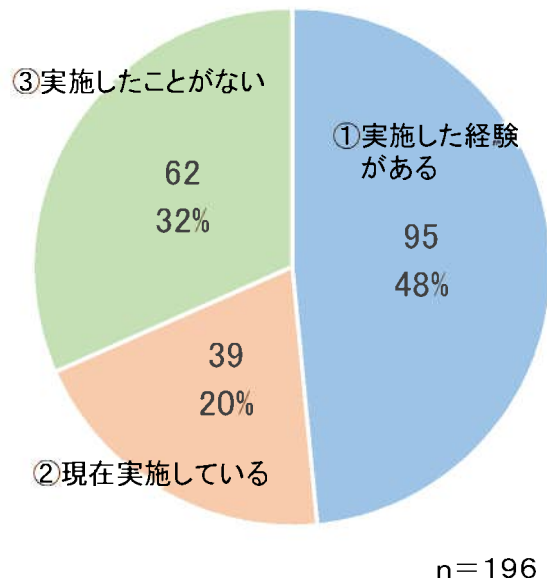




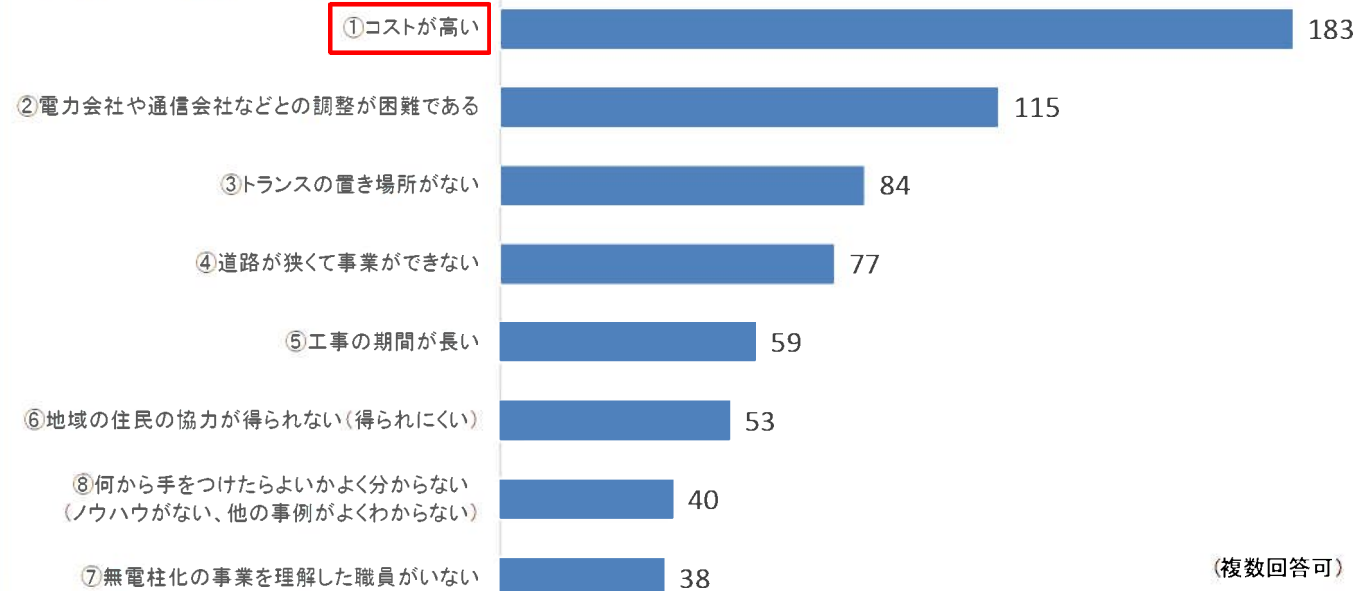
# 無電柱化に関する課題

○無電柱化が進まない主な原因は、コストが高いことに加え、事業者との調整やトランス（地上機器）の設置等の地元調整が困難なこと、道路幅が狭いことなど

## ○無電柱化事業の実施経験



## ○無電柱化事業を実施するにあたっての課題



## ○無電柱化を推進する市区町村長の会が国、都道府県に望むこと

予算確保 (事業に対する補助金等の財政支援をお願いしたい。)

低コスト手法の早期実用化 (低コスト手法の早期実用化をお願いしたい。)

地上機器の設置場所に関する方策検討 (地上機や特殊部の設置数削減、設置スペースのコンパクト化を実現できるよう、研究開発を加速していただきたい。)

電線管理者への協力要請 (電線管理者の積極的・協力的な対応を業界に指導いただきたい。)

技術面での支援 (事業を実施するにあたり、技術的な課題や、事務手続きの懸案などについて、市区町村に対してサポートする、支援センターなどの体制作りが必要かと思われます。)

事例紹介 (関係者との調整方法、工事費用負担など参考になる事例があれば紹介していただきたい。)

早期の法整備 (無電柱化の推進に関する法律案の早期成立を望みます。)

○ 平成28年12月、無電柱化の推進に関する法律が施行されました

## 目的

災害の防止、安全・円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、無電柱化（※）の推進に関し、基本理念、国の責務等、推進計画の策定等（※）定めることにより、施策を総合的・計画的・迅速に推進し、公共の福祉の確保、国民生活の向上、国民経済の健全な発展に貢献

（※） 電線を地下に埋設することその他の方法により、電柱又は電線（電柱によって支持されるものに限る。以下同じ。）の道路上における設置を抑制し、及び道路上の電柱又は電線を撤去することをいう

## 基本理念

1. 国民の理解と関心を深めつつ無電柱化を推進
2. 国・地方公共団体・関係事業者の適切な役割分担
3. 地域住民が誇りと愛着を持つことのできる地域社会の形成に貢献

（2条）

## 国の責務等

1. 国 : 無電柱化に関する施策を策定・実施
2. 地方公共団体 : 地域の状況に応じた施策を策定・実施
3. 事業者 : 道路上の電柱・電線の設置抑制・撤去、技術開発
4. 国民 : 無電柱化への理解と関心を深め、施策に協力

（3～6条）

## 無電柱化推進計画(国土交通大臣)

基本的な方針・期間・目標等を定めた無電柱化推進計画を策定・公表  
（総務大臣・経済産業大臣等関係行政機関と協議、電気事業者・電気通信事業者の意見を聴取）

（7条）

## 都道府県・市町村無電柱化推進計画

都道府県・市町村の無電柱化推進計画の策定・公表（努力義務）  
（電気事業者・電気通信事業者の意見を聴取）

（8条）

## 無電柱化の推進に関する施策

1. 広報活動・啓発活動
2. 無電柱化の日（11月10日）
3. 国・地方公共団体による必要な道路占用の禁止・制限等の実施
4. 道路事業や面開発事業等の実施の際、関係事業者は、これらの事業の状況を踏まえつつ、道路上の電柱・電線の新設の抑制、既存の電柱・電線の撤去を実施
5. 無電柱化の推進のための調査研究、技術開発等の推進、成果の普及
6. 無電柱化工事の施工等のため国・地方公共団体・関係事業者等は相互に連携・協力
7. 政府は必要な法制上、財政上又は税制上の措置その他の措置を実施

（9～15条）

# 無電柱化推進法における「無電柱化推進計画」の位置づけ

無電柱化推進計画(国土交通大臣)

(7条)

基本的な方針・期間・目標等を定めた無電柱化推進計画を策定・公表

第七条 (略)

- 2 無電柱化推進計画は、次に掲げる事項について定めるものとする。
  - 一 無電柱化の推進に関する基本的な方針
  - 二 無電柱化推進計画の期間
  - 三 無電柱化の推進に関する目標
  - 四 無電柱化の推進に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策
  - 五 前各号に掲げるもののほか、無電柱化の推進に関する施策を総合的、計画的かつ迅速に推進するために必要な事項

# 無電柱化推進法における「無電柱化推進計画」の位置づけ②

## 無電柱化推進計画(都道府県・市区町村)

(8条)

基本的な方針・期間・目標等を定めた無電柱化推進計画を定めるよう努めなければならない

### 第八条

都道府県は、無電柱化推進計画を基本として、その都道府県の区域における無電柱化の推進に関する施策についての計画（以下この条において「都道府県無電柱化推進計画」という。）を定めるよう努めなければならない。

2 市町村（特別区を含む。以下この条において同じ。）は、無電柱化推進計画（都道府県無電柱化推進計画が定められているときは、無電柱化推進計画及び都道府県無電柱化推進計画）を基本として、その市町村の区域における無電柱化の推進に関する施策についての計画（以下この条において「市町村無電柱化推進計画」という。）を定めるよう努めなければならない。

# 地方公共団体の無電柱化条例

○ 無電柱化を推進するため、つくば市や東京都では無電柱化条例を制定

## つくば市無電柱化条例(平成28年9月30日制定)

無電柱化区域において、電線類の敷設を要請する者(開発事業者など)は、電線類地中化のための管路、特殊部等を整備し、電線路を地下に埋設するための費用を負担しなければならない。

つくば駅周辺の無電柱化区域



研究学園駅周辺の無電柱化区域



## 東京都無電柱化推進条例(平成29年6月14日公布)

### 東京都無電柱化計画の策定

基本方針・目標等を定めた無電柱化計画を策定、公表等

### 無電柱化の推進に関する施策

1. 広報活動・啓発活動の充実
2. 道路占用の禁止、制限等の実施(道路法37条1項の規定により)
3. 関係事業者は、道路事業や市街地開発事業等の実施の際、これらの事業の状況等を踏まえつつ、道路上の電柱・電線の新設の抑制、既存の電柱・電線の撤去の実施
4. 無電柱化の推進のための調査研究、技術開発等の推進、成果の普及
5. 無電柱化工事の施工等のため、都と関係事業者等は相互に連携、協力